



## ●HPの掲載 キムスゲームについて

~~~~~  
【2017年9月12日 12:00】

Hallo! こんにちは。キャプテンBSです。

今日は、ボーイスカウトのゲームの一つを紹介します。親子ハイクでもやりますよ。

皆さんは、キムスゲームってやったことありますか。

たぶん、キムスゲームと呼ばなくても、いろいろな形でやっていますよ。

キムスゲームは、観察力を高めるゲームです。

ボーイスカウトでは、「キム少年のゲーム」という意味でキムスゲームと呼んでいます。キム少年のように観察力と記憶力を強くするこのゲームをボーイスカウトが大好きで、いつもゲームの1つに取り入れています。

インドのキム少年は、行商人に姿を変えたイギリスの諜報員から、訓練を受けます。たくさんの宝石を1分間見てから、後でどんな宝石があったを当てる訓練を何度もして、能力が高くなりました。どんなものでも一度見たら、それを覚える能力です。

遊びながら観察する力や記憶する力が強くなると楽しいですね。

次は、9月14日に掲載します。「ハイキングに必要なものは何？」です。必ず見てくださいね。

### 【キムスゲームの詳しい説明】

興味があったら読んでください。

ボーイスカウト活動を始めた人は、ベーデン・パウエルという人です。私たちは、ベーデン・パウエルを世界の総長と呼んでいます。ベーデン・パウエルが書いた有名な本があります。『スカウティング・フォア・ボーイズ』と言います。

その中に「キムの冒険」という個所があります。

「キム少年は、インドに駐留していたアイランド連隊の軍曹の息子だった。父母は彼が小さい時に亡くなって、叔母の世話になっていた。

遊び仲間がみんな土地の少年だったので、彼はそこの言葉を覚え、その地方の風習をよく知るようになった。ある旅の老僧と大変仲よしになった彼は、一

緒にインド北部のいたる所を旅行した。

ある日、偶然にも彼に父がもといた連隊が行軍するのに出会い、キャンプを訪ねたところが泥棒と疑われ捕えられてしまった。出生証明書やその他の書類を身につけていたので、彼がこの連隊に関係のある者であることがわかり、引き取られて連隊で教育を受けることになった。しかし、休日に外出できるときは、キムはいつもインドの服を着て、土地の人たちの仲間に入っていた。

しばらくしてキムは、古い宝石やこつとう品を扱う商人で、現地人についての知識が深いため、政府の情報部員も勤めているラーガンという人と知り合った。

彼は、キムが土地の風俗習慣を特別よく知っているのに目をつけ、役に立つ政府の情報部員にできると考えた。そこでキムに、スカウト訓練のなかでも大事な、細かい点まで見落とさないで記憶するということを教えた」

前置きが長かったですが、ここでキムスゲームの説明として「キムの訓練」の話になります。

「ラーガンは、まずいろいろな種類の宝石がいっぱい入っている盆を見せた。1分間見せてから布で盆をおおって、どのような石がいくつあったかを言わせました。最初キムは二つか三つしか思い出せなかったし、どんな石であったか正確に説明することもできなかったが、少し練習すると、すぐに全部をよく覚えられるようになった。この方法で、そのほかのいろいろな品物をたくさん見せられても、やはり同じように覚えられるようになった。

その他いろいろな訓練をたくさん受けてからキムは情報部員になり、秘密のサインをもらった。——それは、ロケット、つまり首に付ける記章と、特別な言い方をすれば情報部員の証明になる合い言葉であった」

この本を参考にして、いろいろなことをテーマにして、観察力を高めます。これをキム少年の名前から、キムスゲームと呼びます。

今回のキムスゲームは、レスキュー隊にちなんだいろいろなグッズをテーマ

に考えています。少し勉強しておいてください。

では、9月14日にお会いしましょう。テーマは、「道ですれちがったら『こんにちは』」です。